



Sun Update Connection System 1.0.8 リリースノート



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 819-7292-10
2006年7月

Sun Microsystems, Inc. (以下米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている製品に含まれる技術に関連する知的財産権を所有します。特に、この知的財産権はひとつかそれ以上の米国における特許、あるいは米国およびその他の国において申請中の特許を含んでいることがあります。それらに限定されるものではありません。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

U.S. Government Rights Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

この配布には、第三者によって開発された素材を含んでいることがあります。

本製品に含まれる HG-MinchoL、HG-MinchoL-Sun、HG-PMinchoL-Sun、HG-GothicB、HG-GothicB-Sun、および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリコービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。Copyright(C) OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. Copyright(C) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK for Solaris」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK for Solaris」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

「ATOK」および「推測変換」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK for Solaris」に添付するフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド』に添付のものを使用しています。

「ATOK for Solaris」に含まれる郵便番号辞書(7桁/5桁)は日本郵政公社が公開したデータを元に制作された物です(一部データの加工を行なっています)。

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK のグラフィカル・ユーザインタフェースを実装するか、またはその他の方法で米国 Sun Microsystems 社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書で言及されている製品や含まれている情報は、米国輸出規制法で規制されるものであり、その他の国の輸出入に関する法律の対象となることがあります。核、ミサイル、化学あるいは生物兵器、原子力の海洋輸送手段への使用は、直接および間接を問わず厳しく禁止されています。米国が禁輸の対象としている国や、限定はされませんが、取引禁止顧客や特別指定国民のリストを含む米国輸出排除リストで指定されているものへの輸出および再輸出は厳しく禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun Update Connection System 1.0.8 Release Notes

Part No: 819-4688

Revision A

目次

はじめに	5
1 Sun Update Connection System 1.0.8 リリースノート	9
必須のアップデート	9
要件と制限事項	9
既知の問題と回避策	10
Sun Update Connection System Update Manager のバグ	10
Sun Update Connection Host Web アプリケーションのバグ	12
smpatch のバグ	13

はじめに

本書は、Sun™ Update Manager アプリケーションおよび Sun Update Connection Host Web アプリケーションを使用して Solaris™ 10 オペレーティングシステムのアップデートを管理する場合に起きる可能性のあるバグおよび問題について説明します。Sun Update Manager アプリケーションおよび Sun Update Connection Host Web アプリケーションは、SunSM Update Connection System 1.0.8 製品の一部です。本書は1つの章で構成されています。

関連マニュアル

『Solaris 10 リファレンスマニュアル』には、`smpatch` コマンド、`sconadm` コマンド、`patchsvr` コマンドに関する情報が記載されています。本書の `smpatch(1M)` マニュアルページ、`sconadm(1M)` マニュアルページ、および `patchsvr(1M)` マニュアルページを参照してください。

マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sunのサービス	URL	内容
マニュアル	http://jp.sun.com/documentation/	PDF 文書および HTML 文書をダウンロードできます。
サポートおよび トレーニング	http://jp.sun.com/supporttraining/	技術サポート、パッチのダウンロード、および Sun のトレーニングコース情報を提供します。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用しません。

表P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレク トリ名、画面上のコンピュータ出 力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを 表示します。 system%
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上 のコンピュータ出力と区別して示し ます。	system% su password:
AaBbCc123	変数を示します。実際に使用する特 定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイ ド』を参照してください。
「」	参照する章、節、ボタンやメニュー 名、強調する単語を示します。	第5章「衝突の回避」を参照してくだ さい。 この操作ができるのは、「スーパー ユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキスト がページ行幅を超える場合に、継続 を示します。	sun% grep '^#define \ XV_VERSION_STRING'

コード例は次のように表示されます。

- C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

- C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

|は区切り文字(セパレータ)です。この文字で分割されている引数のうち1つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します(例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによってはEnter キーがReturn キーの動作をします。

ダッシュ(-)は2つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-DはControl キーを押したままD キーを押すことを意味します。

◆ ◆ ◆ 第 1 章

Sun Update Connection System 1.0.8 リリースノート

本書は、Sun™ Update Manager アプリケーションおよび Sun Update Connection Host Web アプリケーションを使用して Solaris™ 10 オペレーティングシステムのアップデートを管理する場合に起きる可能性のあるバグおよび問題について説明します。Sun Update Manager アプリケーションおよび Sun Update Connection Host Web アプリケーションは、SunSM Update Connection System 1.0.8 製品の一部であり、以前は Sun Update Connection, System Edition 1.0.x 製品と呼ばれていました。

本書は、Sun Update Connection System 1.0.8 の情報によって更新されました。<http://docs.sun.com/app/docs/coll/1320.1> で入手できる『Sun Update Connection System 1.0.8 管理ガイド』の詳細な製品情報を補足します。

必須のアップデート

Sun Update Connection System 1.0.8 のアップデートは直接インストールすることができます。該当するアップデートをシステムにインストールすることによって、Release 1.0.8 にアップグレードします。

- SPARC: 121118-07
- x86: 121119-07

要件と制限事項

Sun Update Connection には、次のような制限があります。

- **Solaris サポート。** Sun Update Connection 1.0.x は Solaris 10 システム向けに設計されています。Solaris 8 システムおよび Solaris 9 システムでは、引き続き Sun Patch Manager 2.0 を使用してアップデート管理作業を行います。
- **Solaris 10 ゾーンサポート。** Sun Update Connection 1.0.4 から、Sun Update Manager アプリケーションおよび `smpatch` コマンドは、1 つまたは複数のローカルゾーンがインストールされているシステムの大域ゾーンからのデフォルトの `pkgadd` 動作をサポートします。このデフォルト動作によって、大域ゾーンから Update Manager の GUI または

smpatch コマンドオプションを使用して、システムのすべてのゾーンに関するアップデートの分析、ダウンロード、インストール、およびアンインストールを行えます。Update Manager は、特定のアップデートを、指定ゾーンに対してインストールまたは削除する要求をサポートしません。その代わりに、デフォルトのプロセスを使用して、すべての該当するゾーンでアップデートをインストールまたはアンインストールします。

- **Sun** オンラインアカウントの問題。Sun Update Connection スイートの製品を使用する場合、次のヒントを参考にしてください。

Sun オンラインアカウントに登録する場合、有効な電子メールアドレスを指定してください。すべての電子メールは、登録時に指定したアドレスに送信されます。たとえば、パスワードを忘れたために新しいパスワードを送信するよう Sun に依頼した場合、パスワードはリセットされ、指定の電子メールアドレスに送信されます。Sun オンラインアカウントを持っていない場合は、Update Connection Web アプリケーションにアクセスできません。登録時に言語設定を保存してください。Sun Update Connection Web ブラウザアプリケーションに保存された言語設定は保持されません。

- **Sun** サブスクリプションキー。Sun Update Connection 1.0.8 では、ソフトウェアサポートを含む Sun サービス契約に関する英数字の ID 文字列を「サブスクリプションキー」と呼びます。「Sun サービスプラン ID」、「トークン」、および「サービス契約ナンバー」も同じ ID を指します。ソフトウェアサポートを含むサポート契約のご案内はご購入先が行い、最新の契約 ID をお知らせします。

既知の問題と回避策

バグおよび問題点は、次のカテゴリに分類されます。

- 10 ページの「Sun Update Connection System Update Manager のバグ」
- 12 ページの「Sun Update Connection Host Web アプリケーションのバグ」
- 13 ページの「smpatch のバグ」

Sun Update Connection System Update Manager のバグ

次のセクションでは、Sun Update Manager アプリケーションを使用する場合に発生する可能性がある問題について説明します。

「設定」ウィンドウの「通知」ダイアログボックスで選択したオプションが保存されません。(6437063)

説明: 「ファイル」メニューから「設定」を選択して「通知」タブをクリックすると、デフォルトで「通知のアイコンとメニューの表示」が選択されます。これを変更して「通知のアイコンとメニューの表示」を選択解除し、「適用」の次に「OK」をクリックしても、変更内容が保存されません。

原因: 通知アプリケーションを起動する `swupnot` スクリプトは、その起動の前に、ユーザーが GNOME デスクトップ (CDE 互換でない) を実行しているかどうかを `gnome-netstatus-applet` が実行されているかをチェックすることによって確認しようとしています。このアプレットが実行されていないことが確認されると、スクリプトは終了します。

回避策: 「通知」ダイアログボックスで行なった選択を保存するには、`gnome-netstatus-applet` を起動してください。GNOME デスクトップパネルを右クリックし、表示されるメニューから「パネルに追加」を選択します。表示される次のメニューから「インターネット」を選択してから、「Network Monitor」を選択します。次に Update Manager を起動し、「ファイル」メニューから「設定」を選択して「通知」タブを選択します。選択を行なって「適用」の次に「OK」をクリックし、「設定」ウィンドウを閉じます。これで選択内容が保存されます。

注- この回避策は、GNOME パネルを実行しているセッションのみに適用できます。ユーザーが実行している CDE、または Update Manager を遠隔で表示している CDE には適用できません。

Sun Update Connection Host Web アプリケーションのバグ

次のセクションでは、Sun Update Connection Host Web アプリケーションを使用する場合に発生する可能性がある問題を示します。

- Sun Update Connection Host Web ブラウザアプリケーションで、すでに開いているブラウザではなく、新しいデフォルトのブラウザが起動される。(6263022)

説明: Update Manager で「Manage at Sun Update Connection」 ボタンをクリックすると、Mozilla™ 1.7 ブラウザで新しいウィンドウが開きます。すでに開いているブラウザウィンドウは使用されません。Firefox で作業している場合に「Manage at Sun Update Connection」 ボタンをクリックすると、開いているブラウザではなく、新しいインスタンスの Mozilla 1.7 が開きます。

原因: 開いている Web ブラウザウィンドウではなく、/usr/dt/bin/sdtwebclient ファイルでデフォルトとして指定されてる Web ブラウザの新しいインスタンスが、Update Manager によって起動されます。

回避策: Firefox をシステムのデフォルトブラウザにするには、

/usr/dt/bin/sdtwebclient ファイルを編集します。DEFAULT_BROWSER_LIST で始まる行に、firefox のパスを追加します。

DEFAULT_BROWSER_LIST="location-of-firefox/firefox mozilla netscape sun_netscape_netscape6" ここで、location-of-firefox を firefox コマンドに置き換えます。

- Internet Explorer の「戻る」ボタンを使用すると、「警告: ページの有効期限切れ」エラーが発生する。(6321525)

説明: ブラウザの「戻る」ボタンをクリックすると、次のエラーが表示されることがあります。「警告: ページの有効期限切れ。要求したページは、フォームで送信された情報を使用して作成されました。このページはもう利用できません。セキュリティ保護のため、情報は自動的に再送信されません。情報を再送信し、この Web ページを表示するには、ツールバーの [更新] ボタンをクリックしてください。」

回避策: このエラーを回避するには、指示に従ってページを更新します。要求したページに戻れないことがあります。また、タブがページの内容に合わせて正しく整理されないことがあります。ページ間を移動する場合、ブラウザのナビゲーション機能を使用せずに、Web ブラウザアプリケーションに表示されるナビゲーションタブ、ボタン、およびリンクを使用します。

smpatch のバグ

このセクションでは、smpatch コマンドに固有の問題を示します。

- システムを再起動しても、保留中のアップデートがインストールされない。(6260402)
説明: smpatch update コマンドを実行すると、特別な処理を必要とするアップデートがシステムの次の再起動時にインストールされます。reboot コマンドを使用しても、または、スーパーユーザーとして Sun Java™ Desktop System の再起動メカニズムを使用 (ログアウトして「ログアウト」ダイアログボックスの「再起動」を選択) しても、保留中のアップデートがインストールされません。このアップデートはインストールが保留されたままです。
回避策: init 6 コマンドまたは shutdown -i 6 コマンドを使用して、システムの再起動と保留中のアップデートのインストールを行います。
- smpatch (IM) マニュアルページを修正して、JAVA_HOME コメントを削除する必要がある。(6426291)
説明: Java のいずれかのバージョンで smpatch コマンドを使用する場合、マニュアルページでは、JAVA_HOME フィールドを変更するように指示します。Solaris 10 は Java 1.5.x と互換性があります。smpatch コマンドが機能するために、usr/java リンクが Java 1.5.x を指すようにします。

